

3類型	農林水産物	通巻番号	10-27-003
地域資源名	沖縄県産ハブ	認定日	平成27年10月21日
地域	沖縄県	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：駆除される「久米島ハブ」を活用し、地域と連携したハブ革製品の商品開発及び販路開拓事業

会社名：yu-i FACTORY

所在地：沖縄県島尻郡南風原町字新川583

連絡先：TEL：098-888-0126

FAX：098-888-0126

HP：<http://www.yu-ifactory.com>

事業概要(地域産業資源の活用)

沖縄県のハブ革の模様は「南部」と「北部」「久米島」で異なります。県内では「沖縄県産ハブ革」をハブの生体から革へ加工する業者は皆無でした。2006年から本格的に県内初のハブ革の「鞣し」加工に挑戦し、約2年の歳月を掛けて成功しました。

生態系を崩す事の無いよう久米島町において駆除されるハブを活用。ハブ本来の模様の細かさを活かした商品を作り「地域ブランド」を確立、地域に還元出来る仕組みを構築することで「沖縄県産ハブ革」のステイタスを確立したいと考えています。



【地域産業資源 ハブ】

新たな需要の開拓の見通し(市場性、販路、商品の特性)

◆市場性

現在yu-i FACTORYでは自社店舗LABOと自社HPの他、沖縄県内のお土産品店・空港・観光地・道の駅・ホテル等約25カ所、沖縄県外の物産展等(首都圏を含め年間約6回)で販売・PRしており、既存の販路をベースに展開します。

◆需要の開拓の方針

有限な資源である「ハブ」の希少性を付加価値とし、「沖縄県産ハブ革」のメーカーとしての地位を確立していく考えです。

◆商品の特性

沖縄に生息するハブ模様は、主に沖縄本島産(北部産・南部産)とこの久米島産の3種類です。久米島に生息するハブには独特の真ん中に模様が集中するタイプがあり、他の島には無い「久米島産ハブ革製品」のブランド化を目指します。

地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

現在、久米島町との誓約書を交わし、担当の部署に冷凍庫を提供、処分されるハブを冷凍保存していただき、月締めで町へ入金しています。「久米島産ハブ革製品」のブランド化を進め、弊社と久米島のみでの販売を実施し商品の差別化を図ると共に、地域の方々が誇れる商品開発を計画しています。



【沖縄ハブの模様】

(上)久米島産ハブ

(下)沖縄本島産ハブ



【財布 クガニシリーズ】